

世界が広がる!

こどもと地図

2009年度

1月号
(3学期)



帝国書院

「あなたは見てますか？」

広島県広島市立伴^{とも}小学校 鷓野 誠治

作成のきっかけ：本校の近辺では10年前の集中豪雨で地域に土石流や奥畑川の氾濫に遭い、複数の犠牲者が出ました。私自身も豪雨のなかで下校指導しており、道路の急な増水に恐怖を覚えました。あれから10年目、子どもたちに体験を聞かされたところ、地震や交通事故なども含めて防災について考えようと、地図づくりが決まりました。

作品について：本作品は、日頃生活をしている家の中のおもな地震対策や自分たちの通学路の危険な箇所についてわかりやすくまとめています。そして、本校が土石流危険区域に隣接していることも併せて紹介しています。

作成にあたっては、リーダーの榎崎さんを中心に話し合いを重ね、テーマや役割分担を決めて資料づくりや作図に取り組みました。また、資料づくりの一環として氾濫した河川の被害箇所を見に行ったり、土石流があった団地に行き、現在は砂防ダムになっている場所を見学したりしました。さらに地域の方々から集中豪雨の体験談も聞くことができました。さまざまな活動から多くのことを学びました。子どもたちは真剣かつ工夫を凝らしながら作業を進めていきました。

指導について：各グループの子どもたちは自主的に活動に取り組みました。アドバイスをした点は、全体の構成や配色くらいで、キャラクターの絵や文章表現などは、自分たちでいろいろ意見を出し合って決めました。

自分たちの地域で10年前に起きた災害を身近な場所に置き換えて考えた気持ちをこれからも忘れないで大切にしてほしいと思います。

作成者の話：広島県広島市立伴小学校5年
榎崎 絵梨香

4年生のとき、私が住んでいる伴は、30年以内に大きな地震が来るかもしれない地域なので、そのときどこが危険か、どうしたらよいかなどを考えて、家の危険な場所の図を描いたりどう行動すればよいかを表したりしました。グループメンバーの住んでいる地域がみんなバラバラなので、「うちの近くはこんな所があって危険だよ」と、周りの危険を出し合いました。また、体育館で実際被害にあった方々の話を聞いて、それも参考にしてみました。作成する中で女子は文章を考える、写真を撮ってくる、家の中の危険を調べるという作業をしました。男子は建物がどこにあるかを調べ、着色し、キャラクターをつくりました。周りの危険がわかり、地域もよくわかったので、危険を意識して観るようになりました。

学年で12グループに分かれて、それぞれのテーマで地図を作成しました。

これからも、いろいろな地図をつくったり、危険を調べたりして、伴を詳しく知って、自分の街を見つめていきたいです。



「地図ならびに地理作品展」に出品した6グループの地図

こどもと地図 2009年度1月(3学期)号
2010年1月5日発行(No.29)

発行所 東京都千代田区神田神保町3-29(〒101-0051)
株式会社 帝国書院
発行人 斎藤正義
電話 03-3262-0831 <http://www.teikokushoin.co.jp/>